



令和元年第2回富谷市議会臨時会

市長挨拶

令和元年5月21日

富谷市長 若生 裕俊

～『住みたくなるまち日本一』を目指して～



本日ここに、令和元年第 2 回富谷市議会臨時会が開会されるにあたり、提出議案の説明に併せて、一言、ご挨拶を申し上げます。

議会の皆様には、日ごろより市勢発展のため、ご尽力いただいておりますことに、改めて感謝を申し上げます。

さて、5月1日に新天皇が御即位され、新元号「令和」とともに、新しい時代の幕が開けました。新元号発表時の安倍内閣総理大臣の言葉では、この「令和」には、「悠久の歴史と薫り高き文化、四季折々の美しい自然をしっかりと次の時代へと引き継ぎ、厳しい寒さの後に春の訪れを告げ、見事に咲き誇る梅の花のように、一人ひとりが明日への希望とともに、それぞれの花を大きく咲かせることができる、日本でありたい」との願いが込められているとのことでした。

本市といたしましても、新しい時代においても、市民歌にもありますように、「悠久の歴史に思いを馳せ」、「希望にあふれる我が故郷」を、議会議員の皆様、市民の皆様と共につくり上げてまいります。

また、去る5月1日と7日には、市民交流ホールにて、天皇陛下の御即位への祝意と上皇陛下への謝意をお受けする記帳所を設け、多くの皆様にお越しいただきました。8日には、議会議長、副議長にご臨席を賜り、新元号の出典となった万葉集「梅花の歌」にちなみ、紅梅と白梅を市役所敷地内に植樹し、「令和」への改元をお祝いしたところでございます。

なお、改元に伴う各種システムへの対応につきましては、大きなトラブルもなく、順調に稼動しております。その中で、改元後の5月以降に発送している各種納税通知書につきましては、システム上の関係から、年度表記部分が「平成」、暦年を記載する通知日や納期限が「令和」表記となり、元号が混在しておりますが、法的に効力を失するものではありませんので、ご理解いただくようお願いいたします。

次に、新年度にあたっての行政運営体制について申し上げます。

先の定例会におきまして全会一致でご承認いただきましたとおり、宮城県から西村副市長をお迎えし、また、宮城県教育委員会から、二階堂教育次長を、国土交通省から、木越企画部長をそれぞれ任用いたしました。任期付職員を含めた12名の新規採用職員とともに、総勢340名の職員で、富谷市総合計画の着実な推進と行政改革を両輪として、「住みたくなるまち日本一」の実現を目指し、職

員一丸となって行政運営を進めてまいります。

それでは、本臨時会に提出している議案の概要をご説明申し上げます。

議案第 1 号及び議案第 2 号については、固定資産評価審査委員会委員の選任につき議会の同意を求めるものでございます。

議案第 3 号については、教育委員会委員の任命につき議会の同意を求めるものでございます。

承認第 1 号から承認第 8 号については、先に行った、平成 31 年度税制改正等に伴う税条例、国民健康保険税条例及び介護保険条例の一部改正 3 件、平成 30 年度の事業確定に伴う各種会計補正予算 4 件、並びに改元に伴う関係条例の整理に関する条例の制定 1 件の専決処分について、承認をお願いするものでございます。

以上、人事案件 3 件、専決処分の承認 8 件の概要をご説明申し上げましたが、議案審議の際には、詳細にご説明いたしますので、慎重にご審議を賜り、全案件ご可決下さいますよう、よろしくお願い申し上げます。